

木目面の接着に酢ビ系を使用した。接着面積が少ないため結果は不良で、エポキシ系接着剤を使用したことで好結果が得られた。

旋削加工は丸棒縁が小径のため長尺物の加工は旋削振れが生じるので必ず振止め治具が必要である。

## 竹製スクリーンの研究と試作

### 1. 目 的

鹿児島県で生産されている竹製品は竹器類、竹箆類、地下莖製品、特殊加工品など広く製品化されているが、生活文化の向上や技術開発による新製品の進出により生活環境が年々多様化と高度化への傾向のなかで、住家具に対する期待がたかまっている現状から付加価値の高い間仕切り家具をとりあげて研究試作を行った。

### 2. 概 要

日本間、洋間どちらにも使用できるように設計し、両面の編組模様を白竹と炭化着色竹であらわし表裏の接着には和紙を以て両面張りとして、それに竹縁を取付けて藤巻きを行い、両面一枚のパターンとしてこれを六枚接続して丸棒縁に緊結したものである。

### 3. 経 過

1. 使用竹材は孟宗竹の中身を利用
2. 編組法は綾編系統の応用
3. 編組単板の接着には尿素と酢ビの混合
4. 木棒と編組体の接続は絹紐で蝶番とした

### 4. 成 果

間仕切り家具としてあらゆる点を考慮して試作したのであるが、編組デザイン、木棒と編組体の接続部、蝶番の付けかたと緊結度など改善を必要とする箇所がでてきた。またこの試作によりいくつかの応用製品も考えられ新しい壁面構成品として展開するものと思われるので継続して実施する。

なお間仕切り家具として第20回全国試験所作品展に出品した。

## 特産材利用による新製品開発研究

研究員 堀之内 輝 男

### 1. 目 的

屋久杉、檜、椎、かし、赤松等を材料にして、加工機器の応用改善を主にした加工方法

によって付加価値ある新製品の開発をはかる。

### 2. 概 要